

県民意識調査の結果（概要1）

調査概要

- (1) 対象：大分県内に居住する満18歳以上の方 (2) 期間：R5.7.31～8.24
(3) 方法：選挙人名簿から5,000人を無作為抽出し、調査票を郵送 ※回答はオンラインも可
(4) 設問：全19問（現在の暮らしやすさ、大分県に期待する行政分野など）
(5) 回答：2,696名（回答率53.9%）※本調査の標本誤差は約1.9%であり、公的統計の目安とされる3%以下となっていることから有意である

①暮らしやすさ

Q 大分県は暮らしやすい県だと思いますか

- ◆「暮らしやすい」(25.2%)、「どちらかといえば暮らしやすい」(31.2%)を合わせると、**56.4%が暮らしやすい**と回答
- ◆前回調査(H25)では**60.6%が暮らしやすい**と回答 「暮らしやすい」(30.2%) 「どちらかといえば暮らしやすい」(30.4%)

②暮らしやすさの判断要素

Q 「暮らしやすさ」を考えるうえで、大切なことはどのようなことですか

- ◆「**健康維持と医療機関の利用しやすさ**」(42.5%)が最も多い
- ◆次いで、
「海・山などの豊かな自然環境」 41.5%
「買い物の便利さ」 37.1%
「新鮮で美味しい食べ物」 36.7% と続く

③生活の満足度

Q 現在、生活にどの程度満足していますか (0点～10点を選択)

- ◆全体の**平均点は6.05点**
- ◆「5点」24.1%が最も多く、「7点」21.5% 「6点」15.0%と続く
- ◆国調査(R5)では**平均5.79点**
- ◆前回調査では**県平均6.6点(H25)、国平均6.4点(H24)** ※前は幸福感を尋ねた結果

④満足度の判断要素

Q 生活全体の満足度を判断する際に、重視したのはどのようなことですか

- ◆「**健康状態**」(51.7%)が最も多い
- ◆次いで、
「家計と資産」 37.4%
「身の周りの安全」 29.3%
「仕事と生活(ワークライフバランス)」 23.5% と続く

⑤今後の大分県に期待する行政分野

Q 10年後を見据えて、今後、大分県に期待する行政分野はどのようなことですか (24項目の中から5つまで選択可)

- ◆「**高齢者福祉の充実**」56.5%(39.7%) ↑ が最も多い ※括弧内はH25調査結果
- ◆次いで、
「医療・健康づくり」 47.0%(49.1%) →
「こども・子育て支援」 34.7%(21.6%) ↑
「交通網の充実」 34.5%(34.8%) → と続く
- ◆その他大きく増加した項目
「防災・減災対策」 29.0% (16.5%) ↑
「環境対策」 26.4% (16.5%) ↑
「女性の活躍推進」 6.1% (1.6%) ↑
「デジタル化の推進」 5.6% (1.6%) ↑
- ◆減少した項目
「移住・定住の促進」 10.4% (28.2%) ↓
「観光の振興」 7.8% (11.2%) ↓

県民意識調査の結果（詳細分析1-1）

地域や性別など属性別に詳細分析を実施〔冊子P.27～〕

◆大分県の暮らしやすさ〔P.29〕

太字 は全体より5pt以上高い項目

太字 は全体より10pt以上高い項目

単位：%

区分		標本数	暮らしやすい ①	どちらかといえば 暮らしやすい ②	普通である	どちらかといえば 暮らしにくい ③	暮らしにくい ④	無回答	暮らしやすい計 ①+②	暮らしにくい計 ③+④
全体		2,696	25.2	31.2	32.7	7.1	2.2	1.5	56.4	9.3
地域別	東部	462	25.5	30.5	33.1	7.8	1.3	1.7	56.0	9.1
	中部	1,397	29.9	34.5	28.4	4.4	1.8	1.0	64.4	6.2
	南部	169	18.3	29.0	37.3	10.7	3.6	1.2	47.3	14.3
	豊肥	128	23.4	26.6	35.2	10.9	1.6	2.3	50.0	12.5
	西部	194	11.3	22.7	47.9	13.9	3.6	0.5	34.0	17.5
	北部	346	17.6	26.6	37.9	10.4	3.8	3.8	44.2	14.2
性別	男性	1,204	24.4	31.6	33.6	6.8	2.3	1.3	56.0	9.1
	女性	1,482	26.0	31.1	31.8	7.4	2.0	1.6	57.1	9.4
職業別	自営業など	338	24.0	32.8	32.8	6.5	2.4	1.5	56.8	8.9
	会社員など	780	24.2	34.1	31.3	7.7	1.7	1.0	58.3	9.4
	学生	31	32.3	29.0	25.8	12.9	-	-	61.3	12.9
世帯構成別	高齢者単身	280	26.8	26.4	36.1	6.4	2.9	1.4	53.2	9.3
	2世代同居	1,123	26.4	30.9	31.5	7.7	2.3	1.2	57.3	10.0
家族構成別	小学生のいる世帯	189	24.9	32.8	30.7	7.9	3.2	0.5	57.7	11.1
	高校生のいる世帯	167	33.5	35.3	21.0	7.8	1.2	1.2	68.8	9.0
	65歳以上のいる世帯	1,734	24.5	29.8	34.8	7.1	2.2	1.7	54.3	9.3

県民意識調査の結果（詳細分析1-2）

◆生活の満足度（0～10点を選択）【P.34】

太字 は全体より5pt以上高い項目

太字 は全体より10pt以上高い項目

単位：%

区分		標本数	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答	平均点
全体		2,696	0.9	0.6	1.6	5.8	7.5	24.1	15.0	21.5	14.3	4.4	3.2	1.1	6.05
地域別	東部	462	0.6	1.1	1.9	4.8	9.1	24.9	13.6	20.6	14.9	3.7	3.9	0.9	6.03
	中部	1,397	0.6	0.5	1.1	5.1	5.7	22.3	14.9	23.5	16.9	5.0	3.5	0.9	6.27
	南部	169	1.8	-	1.8	11.2	8.3	24.9	17.2	16.0	11.2	5.3	1.8	0.6	5.68
	豊肥	128	2.3	-	0.8	3.9	10.2	23.4	18.8	21.9	9.4	4.7	3.1	1.6	5.94
	西部	194	-	0.5	2.1	6.2	12.9	29.9	13.4	21.1	9.3	2.1	2.6	-	5.71
	北部	346	1.7	0.6	2.6	8.1	8.1	27.2	15.9	17.6	9.2	3.5	2.3	3.2	5.63
性別	男性	1,204	1.2	0.7	1.4	5.8	7.3	25.2	15.7	21.9	13.6	3.7	2.7	0.9	5.98
	女性	1,482	0.7	0.5	1.7	5.8	7.6	23.2	14.5	21.1	14.9	5.0	3.7	1.3	6.12
職業別	自営業など	338	0.3	0.6	1.8	5.3	6.8	23.7	13.6	25.7	12.7	4.4	4.7	0.3	6.18
	会社員など	780	1.2	0.4	1.4	5.8	7.2	23.5	13.5	26.0	14.0	3.3	3.2	0.6	6.07
	学生	31	-	-	-	3.2	9.7	22.6	12.9	32.3	9.7	6.5	3.2	-	6.32
世帯構成別	高齢者単身	280	1.8	1.1	1.4	6.4	13.2	24.6	10.4	17.1	10.4	5.7	4.6	3.2	5.81
	2世代同居	1,123	0.7	0.4	1.8	5.9	7.6	24.0	14.9	21.8	14.3	4.5	3.6	0.6	6.08
家族構成別	小学生のいる世帯	189	1.1	-	2.1	5.3	6.9	21.7	15.3	21.7	14.3	9.5	2.1	-	6.21
	高校生のいる世帯	167	0.6	0.6	0.6	4.2	7.2	22.8	15.6	21.6	20.4	5.4	1.2	-	6.25
	65歳以上のいる世帯	1,734	0.8	0.5	1.6	5.7	8.0	25.3	16.2	19.3	13.5	4.4	3.6	1.3	6.02

県民意識調査の結果（詳細分析1-3）

◆大分県に期待する行政分野（24項目の中から5つまで選択可）〔P.38～39〕

太字 は全体より5pt以上高い項目

太字 は全体より10pt以上高い項目

単位：%

区分		標本数	高齢者福祉の充実	医療・健康づくり	支えこども・子育て	交通網の充実	安全・安心（食、消費者、動物愛護等）	防災・減災対策	環境対策（自然保護、地球温暖化対策等）	雇用対策（働き方改革を含む）	犯罪・交通事故防止	農林水産業の振興	教育環境の充実	観光の振興	女性の活躍推進	先端技術・デジタル化（DX）促進
全体		2,696	56.5	47.0	34.7	34.5	31.0	29.0	26.4	23.9	19.9	16.9	10.2	7.8	6.1	5.6
地域別	東部	462	60.4	48.5	34.2	29.9	30.1	28.4	28.1	22.5	18.0	17.5	7.8	10.4	4.8	4.8
	中部	1,397	54.6	48.2	36.6	36.0	35.1	28.5	25.5	25.8	21.6	12.9	11.9	7.5	7.0	6.1
	南部	169	56.2	37.3	28.4	39.1	26.6	41.4	27.2	21.9	19.5	19.5	5.3	5.9	4.7	5.3
	豊肥	128	63.3	46.1	32.8	38.3	23.4	22.7	25.8	15.6	11.7	38.3	5.5	5.5	3.9	3.1
	西部	194	60.8	43.8	33.5	30.9	21.1	31.4	28.4	25.8	20.6	29.9	7.2	10.3	6.2	3.6
	北部	346	54.3	46.5	32.1	32.7	26.6	27.2	26.3	21.4	18.5	15.6	12.4	6.1	5.8	7.2
性・年代別	男性計	1,204	53.9	44.2	35.2	33.8	27.3	30.1	23.4	23.3	21.3	22.6	9.3	9.9	3.7	8.4
	10～20歳代	54	14.8	33.3	61.1	29.6	31.5	14.8	11.1	31.5	22.2	13.0	14.8	22.2	1.9	14.8
	30歳代	78	20.5	32.1	55.1	26.9	29.5	25.6	11.5	46.2	24.4	12.8	25.6	17.9	5.1	17.9
	40歳代	114	25.4	40.4	50.9	40.4	27.2	23.7	15.8	36.8	23.7	12.3	28.9	14.0	3.5	14.0
	女性計	1,482	58.6	49.3	34.3	35.2	34.1	28.3	28.9	24.5	18.8	12.2	11.0	6.1	8.1	3.4
	10～20歳代	82	23.2	28.0	58.5	40.2	31.7	18.3	23.2	40.2	25.6	3.7	23.2	14.6	18.3	7.3
	30歳代	101	26.7	33.7	73.3	23.8	43.6	18.8	14.9	48.5	23.8	12.9	23.8	12.9	13.9	7.9
40歳代	164	49.4	56.1	47.6	32.3	26.8	28.7	17.7	37.8	23.2	9.8	18.3	4.9	12.8	5.5	
職業別	自営業など	338	55.0	41.7	32.0	31.1	26.6	29.9	24.9	13.3	18.0	38.8	9.8	8.0	5.9	5.0
	会社員など	780	46.4	45.6	43.7	35.9	31.9	28.8	21.2	38.6	20.4	13.8	14.2	10.6	6.9	8.3
	学生	31	16.1	25.8	71.0	38.7	38.7	6.5	22.6	19.4	22.6	3.2	29.0	29.0	16.1	19.4
世帯構成別	高齢者単身	280	67.1	48.2	25.7	27.1	31.8	25.0	29.3	11.8	16.8	12.9	5.4	6.4	5.0	2.1
	2世代同居	1,123	49.7	44.3	40.9	35.1	30.5	28.9	23.7	29.9	22.7	16.0	13.7	7.4	7.0	6.4
家族構成別	小学生のいる世帯	189	36.0	45.5	72.0	32.3	27.5	21.2	15.3	31.2	27.0	14.3	31.2	7.9	8.5	7.4
	高校生のいる世帯	167	46.7	43.7	50.9	33.5	29.3	19.8	22.2	38.3	22.8	10.8	22.8	6.0	9.6	6.0
	65歳以上のいる世帯	1,734	64.2	47.3	28.0	34.5	29.4	30.0	29.8	18.6	18.0	19.3	6.6	6.3	5.3	4.7

県民意識調査の結果（概要2）

⑥各分野で力を入れてほしいこと（10～12項目の中から3つまで選択可） ※赤文字は50%を超えた項目

①子ども・子育て環境

- 1位：保育料や医療費など子育てにかかる経済的支援（61.7%）
- 2位：保育所、病児保育などの預かりサービスや放課後児童クラブの充実（43.6%）
- 3位：若者の出会いの機会の創出（37.2%）

②高齢者・障がい者福祉

- 1位：介護・障がい福祉サービスの充実（52.7%）
- 2位：生活支援の充実（45.5%）
- 3位：在宅介護や在宅医療の充実（44.2%）

③地域共生社会づくり

- 1位：経済的に困窮している方等の生活や就労への支援（48.1%）
- 2位：社会的に孤独・孤立している方や家族等への支援（46.6%）
- 3位：虐待で子どもが傷ついたりすることがない環境づくり（37.9%）

④医療・健康づくり

- 1位：休日・夜間など緊急時の救急医療体制の充実（57.5%）
- 2位：在宅で適切な医療を受けられる環境づくり（45.8%）
- 3位：地域で不足する領域の医師や看護師等の確保（36.8%）

⑤防災・減災対策

- 1位外：災害時の物資備蓄や避難所などの防災拠点の環境整備
- 1位外：災害に関する情報の迅速で確実な伝達（54.5%）
- 3位：自力での避難が困難な方の支援体制づくり（38.7%）

⑥移住・定住の促進

- 1位：移住・定住の受け皿となる仕事づくりや働く場の確保（59.0%）
- 2位：子どもを生み育てやすい環境づくり（47.1%）
- 3位：地域に住み続けたいという住民の思いを叶える地域づくり（39.1%）

⑦地域の活性化

- 1位：身近なバス路線など日常の交通手段の確保（48.2%）
- 2位：暮らしを支える農業・林業・水産業への支援（41.0%）
- 3位：人口減少と高齢化が進む集落をみんなで支え合う仕組みづくり（35.5%）

⑧農林水産業の振興

- 1位：大分のブランドとなる品目の確立と販売促進（45.4%）
- 2位：企業の農業参入など多様な担い手の確保と育成（43.5%）、
- 3位：食品産業と連携した生産から加工、販売までの産地づくりの推進（38.5%）

⑨商工業の振興

- 1位：若年者などの雇用対策（51.8%）
- 2位：経営・融資や商品・技術開発から販路開拓まで中小企業への支援（45.4%）
- 3位：商店街や中心市街地の活性化・観光産業の振興（41.6%）

⑩観光の振興

- 1位：空港や駅から観光地までの交通手段（バス・観光タクシーなどの充実）（50.3%）
- 2位：大分県の魅力の国内外への更なる情報発信（48.0%）
- 3位：地域の資源を活かした新たな観光素材の発掘や多様なツーリズムの推進（40.0%）

⑪学校教育

- 1位：基礎的な知識や思考力など学力向上のための取り組み（45.0%）
- 2位：教職員の資質や指導力の向上（39.9%）
- 3位：いじめや不登校への対応と未然防止の強化（35.2%）

⑫芸術文化・スポーツ

- 1位：子どもが文化芸術やスポーツに親しむ機会や環境の充実（51.9%）
- 2位：芸術文化やスポーツの鑑賞・観戦機会の充実（44.0%）
- 3位：地域の文化財・伝統文化の保存や地域づくりでの活用（29.0%）

⑬交通網の整備

- 1位：地域間を結び暮らしを支える国道や県道の整備（50.6%）
- 2位：日常生活を支える路線バス等の確保や利便性の向上（47.8%）
- 3位：道路の渋滞対策や通学路などの交通安全対策（46.0%）

⑭環境対策、自然保護

- 1位外：植林や緑化など二酸化炭素の吸収源を増やす取り組みの推進
- 1位外：廃棄物の適正処理や環境負荷を少なくする取り組みの推進（35.2%）
- 3位：家庭の省エネ・省資源化の促進（34.7%）

県民意識調査の結果（詳細分析2-1）

◆「各分野で力を入れてほしいこと」における地域別の特徴（ニーズが大きいもの） ※赤文字は60%を超えた項目

単位：%

①東部地域

こども子育て	保育料や医療費など子育てにかかる経済的支援	62.3
移住・定住	移住・定住の受け皿となる仕事づくりや働く場の確保	60.6
医療・健康	休日・夜間など緊急時の救急医療体制の充実	58.7
防災・減災	災害時の物資備蓄や避難所などの防災拠点の環境整備	55.4

②中部地域

こども子育て	保育料や医療費など子育てにかかる経済的支援	64.4
移住・定住	移住・定住の受け皿となる仕事づくりや働く場の確保	57.3
防災・減災	災害時の物資備蓄や避難所などの防災拠点の環境整備	56.9
医療・健康	休日・夜間など緊急時の救急医療体制の充実	56.5
防災・減災	災害に関する情報の迅速で確実な伝達	55.4
観光	空港や駅から観光地までの交通手段の充実	55.0
交通網	道路の渋滞対策や通学路などの交通安全対策	55.0

③南部地域

移住・定住	移住・定住の受け皿となる仕事づくりや働く場の確保	61.5
防災・減災	災害時の物資備蓄や避難所などの防災拠点の環境整備	57.4
商工業	若年者などの雇用対策	56.8
観光	空港や駅から観光地までのバス等の交通手段の充実	56.8
交通網	地域間を結び暮らしを支える国道や県道の整備	56.2

④豊肥地域

交通網	地域間を結び暮らしを支える国道や県道の整備	62.5
医療・健康	休日・夜間など緊急時の救急医療体制の充実	61.7
移住・定住	移住・定住の受け皿となる仕事づくりや働く場の確保	60.2
こども子育て	保育料や医療費など子育てにかかる経済的支援	58.6
農林水産業	企業の農業参入など多様な担い手の確保と育成	58.6
防災・減災	災害に関する情報の迅速で確実な伝達	57.0
商工業	若年者などの雇用対策	57.0

⑤西部地域

交通網	地域間を結び暮らしを支える国道や県道の整備	65.5
移住・定住	移住・定住の受け皿となる仕事づくりや働く場の確保	64.9
交通網	日常生活を支える路線バス等の確保や利便性の向上	63.4
商工業	若年者などの雇用対策	61.9
医療・健康	休日・夜間など緊急時の救急医療体制の充実	61.3
防災・減災	災害に関する情報の迅速で確実な伝達	61.3
こども子育て	保育料や医療費など子育てにかかる経済的支援	57.7
福祉	介護・障がい福祉サービスの充実	55.2

⑥北部地域

移住・定住	移住・定住の受け皿となる仕事づくりや働く場の確保	58.4
医療・健康	休日・夜間など緊急時の救急医療体制の充実	57.8
こども子育て	保育料や医療費など子育てにかかる経済的支援	57.5
交通網	地域間を結び暮らしを支える国道や県道の整備	55.5

県民意識調査の結果（詳細分析2-1）

◆「各分野で力を入れてほしいこと」における地域別の特徴（ニーズが大きいもの）

前ページを項目別に整理したもの

単位：%

		東部	中部	南部	豊肥	西部	北部
移住・定住	移住・定住の受け皿となる仕事づくりや働く場の確保	60.6	57.3	61.5	60.2	65.5	58.4
こども子育て	保育料や医療費など子育てにかかる経済的支援	62.3	64.4		58.6	57.7	57.5
医療・健康	休日・夜間など緊急時の救急医療体制の充実	56.5	58.7		61.7	61.3	57.8
交通網	地域間を結び暮らしを支える国道や県道の整備			56.2	62.5	65.5	55.5
//	日常生活を支える路線バス等の確保や利便性の向上					63.4	
//	道路の渋滞対策や通学路などの交通安全対策		55.0				
防災・減災	災害時の物資備蓄や避難所などの防災拠点の環境整備	55.4	56.9	57.4			
//	災害に関する情報の迅速で確実な伝達		55.4		57.0	61.3	
商工業	若年層などの雇用対策			57.0	57.0	61.9	
観光	空港や駅から観光地までのバス等の交通手段の充実		55.0	56.8			
農林水産業	企業の農業参入など多様な担い手の確保と育成				58.6		
福祉	介護・障がい福祉サービスの充実					55.2	

県民意識調査の結果（詳細分析2-2）

◆「各分野で力を入れてほしいこと」における年代別の特徴

※括弧内は県全体

①若年層（10～20歳代）で特にニーズが大きいもの

- こども・子育て環境 保育料や医療費など子育てに係る経済的支援 男性 77.8%、女性 80.5%（61.7%）
- 商工業の振興 製造業やIT関連産業などの多様な企業の誘致 男性 42.6%、女性 14.6%（31.6%）

②高齢層（70歳以上）で特にニーズが大きいもの

- 医療・健康づくり 在宅で適切な医療を受けられる環境づくり 男性 57.7%、女性 53.8%（45.8%）
- 防災・減災 自力での避難が困難な方の支援体制づくり 男性 39.8%、女性 47.4%（38.7%）

③若年層と高齢層でニーズの差異が大きいもの

単位：%

区分	交通網の整備		移住・定住の促進		地域の活性化	
	高年齢層 路線バス等の確保 や利便性向上	若年層 東九州新幹線 の早期実現	高年齢層 大分空港への アクセス改善	高年齢層 地域に引き続きたいという 思いを叶える地域づくり	高年齢層 高齢化が進む集落をみんな で支え合う仕組みづくり	若年層
男性	10～20歳代	24.1	38.9	38.9	24.1	
	70歳以上	26.4pt	50.0	11.9	47.3	43.3
女性	10～20歳代	47.6	40.2	35.4	22.0	
	70歳以上	10.8pt	58.4	14.5	46.2	42.6
全体	47.8	33.3	20.8	39.1	35.5	

区分	農林水産業の振興		芸術文化・スポーツ		観光の振興	
	若年層 大分のブランドとなる品目の確立	若年層	若年層 スポーツの競技力向上	若年層	若年層 大規模会議やビッグイベントの誘致	若年層
男性	10～20歳代	63.0	33.3	16.7		
	70歳以上	22.2pt	40.8	13.4	8.2	8.5pt
女性	10～20歳代	50.0	15.7	20.7		
	70歳以上	8.4pt	41.6	10.2	9.3	11.4pt
全体	45.4	15.4	14.5			